

## 株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで  
定時株主総会 毎年9月  
剰余金配当基準日 中間配当 12月31日  
期末配当 6月30日  
※その他、必要がある場合には、あらかじめ公告の上、臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話お問い合わせ) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法 電子公告により当社ホームページ  
(<http://www.tokki.co.jp>) に掲載いたします。  
ただし、事故・その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、官報に掲載いたします。

株主さまの各種お手続きは、原則としてお取引口座のある証券会社経由で行っていただいておりますので、お取引口座のある証券会社にご照会ください。  
なお、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
■電話(フリーダイヤル) 0120-244-479  
■ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 株主のみなさまの声を聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9813

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

## ホームページのご紹介

当社のホームページでは、株主・投資家のみなさまに向けてIR情報の他、ニュースリリースによる最新情報や事業内容などを分かりやすく発信しておりますので、ぜひアクセスしてください。

<http://www.tokki.co.jp>



TOPページ

IRページ



トッキ株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目21番2号  
TEL.(03)3551-3151



地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています



ミックス品  
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです  
www.fsc.org Cert. No. SGS-COC-2499  
© 1996 Forest Stewardship Council

OLED Display Manufacturing Equipment



Thin-Film Photovoltaic Cell Manufacturing Equipment



# 株主のみなさまへ TOKKI Interim Report

Vacuum Process Equipment



Thin-Film Surface Smoothers



Other Business



トッキ株式会社  
第42期 中間報告書  
平成20年7月1日~平成20年12月31日

# MISSION

独創性ある  
技術によって  
社会に貢献してまいります。

産業界の自動化、  
効率化に貢献する

真空応用技術を  
基に電子産業に  
貢献する

環境・安全を  
テーマに  
産業界に貢献する

株主のみなさまへ

To Our Shareholders



代表取締役社長  
津上 晃寿 (つがみ てるひさ)

株主のみなさまにおかれましては、ますます  
ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第42期中間報告書をお届けするにあたり、当第2  
四半期の業績と通期見通しについてご報告させて  
いただきます。

## 当第2四半期の業績について 売上および利益の改善

当第2四半期は、当社主力事業である有機ELディス  
プレイ製造装置や薄膜太陽電池製造装置を取り扱う  
「真空技術応用製品事業」の売上高が、前年度の受注状  
況を反映し、概ね計画通り好調に推移し前年同四半期

に比べ大幅な増収となりました。一方、「NC工作機械等  
販売事業」は、世界的な工作機械市況の急激な悪化の影  
響を受け、売上高は前年同四半期に比べ、約半減と大幅  
な減収となりましたが、連結売上高においては「真空技  
術応用製品事業」の増収幅が「NC工作機械等販売事業」  
の減収幅を上回る結果となりました。

また、利益面においては、従来より展開してまいりま  
した設計改革や資材調達改革の推進、原価統制の強化  
による原価低減活動の徹底や受注管理の厳格化などの  
経営構造改革の成果が着実に現れ、売上高の増加とと  
もに利益面においても改善してまいりました。その結  
果、営業利益、経常利益および純利益ともに黒字となり  
ました。

## 通期の見通しと取組み方針について 健全な企業体質への変革

当期は、「5期ぶりの黒字化達成」および「継続的かつ  
安定的成長ステージへの移行」を経営目標として掲げ、そ  
の目標を必ず達成するという強い決意を抱いております。

当第2四半期の当社事業関連市場におきましては、当  
社が納入した量産装置で生産される有機ELディスプレ  
イ並びに化合物太陽電池に対する国内外の需要増か  
ら、既存顧客からの次期装置増設や新規設備投資によ  
る受注が比較的堅調に推移いたしました。しかし、昨年  
秋以降の急速な世界景気の後退が、今後の受注活動に

影響を及ぼすと予想されます。

当社はこのような環境リスクを慎重に見極めなが  
ら、前期より加速させてまいりました経営構造改革を  
引き続き強力で推進するとともに、その中でも

- ① 技術開発力の強化 (中期成長を支える戦略的投資、  
コア技術開発と内製化、製品実現リスクの評価等)
  - ② 販売・サービスサポート力の強化 (海外営業活動の  
拡大、新規市場の開拓、拠点整備等によるサービス  
サポート体制の強化等)
  - ③ 製造原価低減活動の推進 (共通設計の推進と流用率  
の向上、原価統制の強化、ベンダーマップの整備と  
拡大等)
- を重点的に取り組んでまいりたいと考えております。

これらの取組みにより、通期の連結売上高は110億  
円、連結経常利益は3億10百万円を実現し、「5期ぶりの  
黒字化達成」および「継続的かつ安定的成長ステージへ  
の移行」を目指すことで、健全な企業体質への変革に向  
け、力強く前進してまいります。

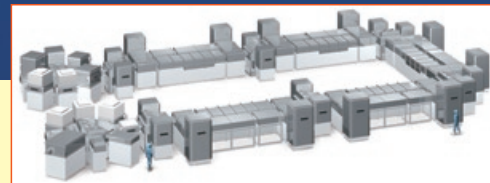
また、当社を支える従業員、関係取引先様、地域社会、  
株主様などすべてのみなさまに信頼していただける存  
在を目指し、企業価値の向上と社会の発展に貢献して  
まいり所存です。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支  
援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# Creating the future using leading-edge technology

## 最先端技術で未来を切り拓く

トッキは、強みとしている真空技術や精密加工搬送、FA（ファクトリー・オートメーション）システムを活かし、有機ELから太陽電池、電子部品など様々な分野で活躍しています。



有機ELインライン量産製造装置

### Product Introduction

有機ELディスプレイ量産製造装置 System-ELVESS  
大量生産向け製造システム。  
世界トップのシェアを誇る。

## 有機EL、太陽電池が大きく売上を牽引

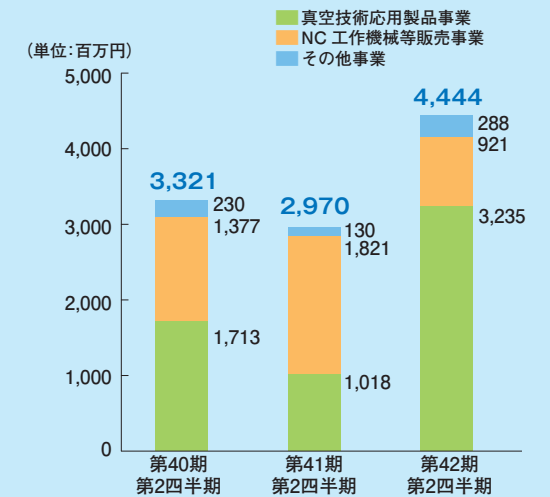
第42期第2四半期の売上高は、前年同期比約1.5倍の44億44百万円となりました。セグメント別では、有機ELや太陽電池の製造装置を設計・生産する真空技術応用製品事業が、好調な受注高を受け、前年同期比約3倍の32億35百万円となりました。

一方、NC工作機械等販売事業は、世界的な工作機械業界の低迷を受け、前年同期比約半減の、9億21百万円となりました。その他事業は2億88百万円となりました。

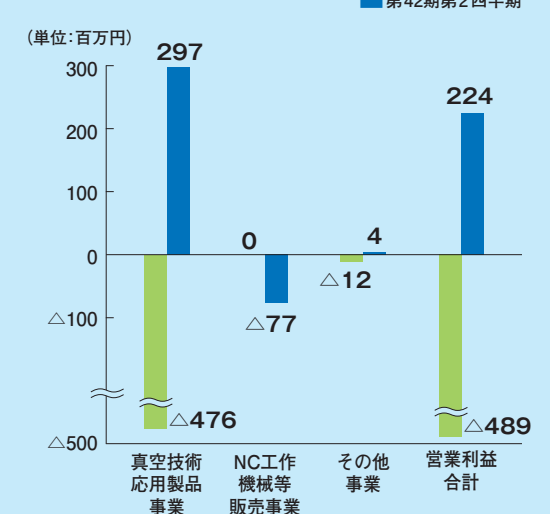
## 営業利益は大きく改善

第42期第2四半期の営業利益は、前年同期の4億89百万円の赤字から、2億24百万円の黒字になりました。セグメント別では、真空技術応用製品事業の大型増設案件の製造原価低減が大きく貢献し、2億97百万円の黒字となり、NC工作機械等販売事業は売上高の減少から、77百万円の赤字となりました。その他事業は4百万円の黒字となりました。

【セグメント別 連結売上高の推移】



【セグメント別 営業利益】



# Achieving steady growth by ceaseless efforts

## たゆまぬ前進により成長を図る

積極的な展示会等への出展による受注活動や  
業務プロセスの改善活動により、着実な成長を図っています。



FPD International 2008  
当社出展ブース(イメージ)

### 積極的な展示会等への出展を行いました。

#### ◆VACUUM 2008—真空展：

平成20年9月10日～12日

日本国内唯一の真空周辺関連機器専門展へ出展し、  
真空業界に存在感を示しました。

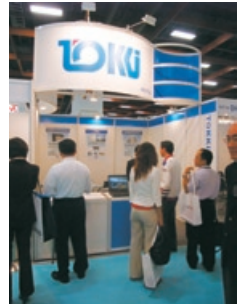


VACUUM 2008出展ブース(イメージ)

#### ◆PV Forum & Exhibition Taiwan：

平成20年10月7日～8日

台湾での太陽電池関連展示会に出展し、太陽電池  
市場へのアピールを行いました。



PV Forum & Exhibition  
Taiwan出展風景

#### ◆FPD International 2008：

平成20年10月29日～31日

フラットパネルディスプレイおよび製造装置・部  
品・材料の総合展示会へ出展し、お客様と受注へ  
向けた具体的な商談を行いました。



FPD International 2008出展風景

### 経営構造改革を強力に推進

当社は経営構造改革の一環として、設計改革や調  
達改革および、原価統制の強化を積極的に推進して  
います。また、共通設計やリードタイムの短縮、複  
数購買などにより、原価低減を図る等、社員の意識  
改革や業務改善に取り組んでおります。今後も引き  
続き経営構造改革を強力に推進してまいります。



売上高

第41期(第2四半期)

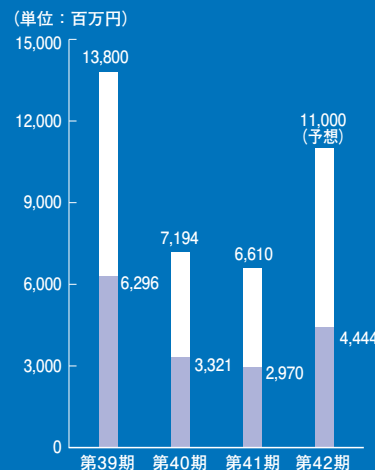
2,970 百万円

第42期(第2四半期)

4,444 百万円

1,474 百万円 **UP**

【売上高】 ■通期 ■第2四半期



営業利益

第41期(第2四半期)

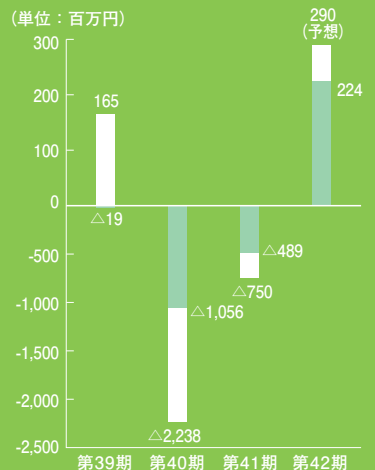
△489 百万円

第42期(第2四半期)

224 百万円

713 百万円 **UP**

【営業利益】 ■通期 ■第2四半期



四半期純利益

第41期(第2四半期)

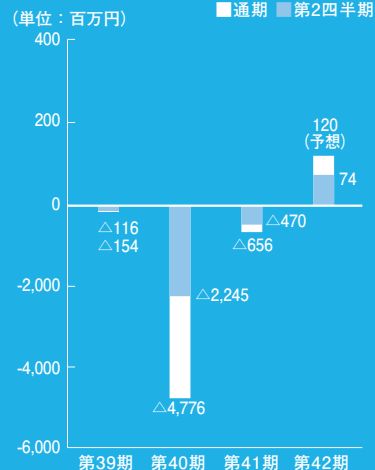
△470 百万円

第42期(第2四半期)

74 百万円

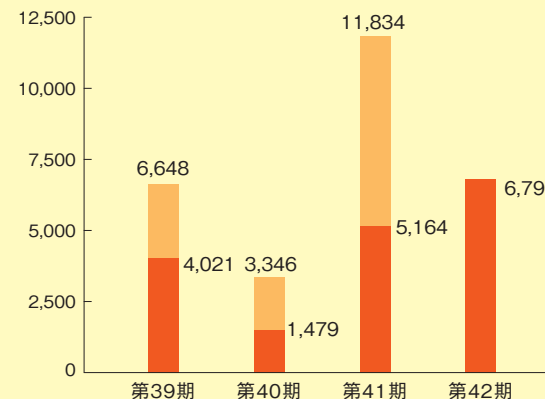
545 百万円 **UP**

【四半期(当期)純利益】 ■通期 ■第2四半期



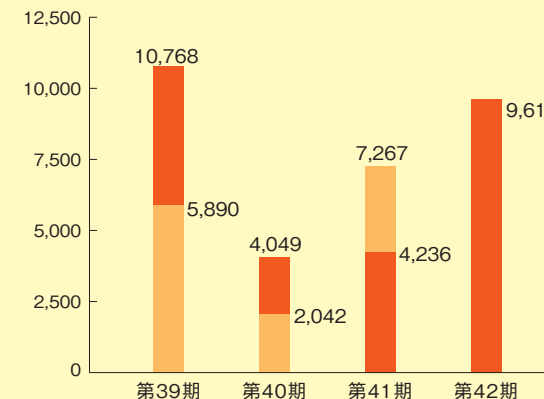
受注高

(単位:百万円) ■通期 ■第2四半期



受注残高

(単位:百万円) ■通期 ■第2四半期



売上は大きく増加、5期ぶりの黒字達成へ

通期は、世界的な景気後退が今後の受注実績に影響を及ぼすと予想されますが、売上高は第2四半期での受注残により、前年比66.4%増の110億円を見込んでおります。

当第2四半期より取り組んでいる原価低減の効果もあり、営業利益は2億90百万円、経常利益は3億10百万円、当期純利益は1億20百万円を見込んでおります。

通期の見通し

売上高 **11,000** 百万円

営業利益 **290** 百万円

経常利益 **310** 百万円

当期純利益 **120** 百万円

(平成20年12月31日現在)

●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	第42期第2四半期末 平成20年12月31日現在	第41期末 平成20年6月30日現在
(資産の部)		
流動資産	7,909	6,352
固定資産	3,272	3,423
資産合計	11,181	9,776
(負債の部)		
流動負債	4,637	3,369
固定負債	120	39
負債合計	4,757	3,409
(純資産の部)		
株主資本	6,432	6,357
資本金	6,572	6,572
資本剰余金	4,697	4,697
利益剰余金	△4,640	△4,715
自己株式	△197	△197
評価・換算差額等	△8	8
純資産合計	6,423	6,366
負債純資産合計	11,181	9,776

●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	第42期第2四半期 平成20年 7月 1日～ 平成20年12月31日	第41期第2四半期 平成19年 7月 1日～ 平成19年12月31日
売上高	4,444	2,970
売上総利益	1,019	179
販売費及び一般管理費	795	668
営業利益又は営業損失(△)	224	△489
営業外収益	48	34
営業外費用	2	85
経常利益又は経常損失(△)	271	△540
特別利益	4	385
特別損失	195	316
税金等調整前四半期純利益又は四半期純損失(△)	80	△471
法人税、住民税及び事業税	3	4
法人税等調整額	1	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	74	△470

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第42期第2四半期 平成20年 7月 1日～ 平成20年12月31日	第41期第2四半期 平成19年 7月 1日～ 平成19年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	497	△864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△0	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100	5,391
現金及び現金同等物の増加額	396	4,538
現金及び現金同等物の期首残高	2,030	2,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,427	7,188

■連結財務諸表は、  
要約したデータを掲載しております。

詳細データは  
当社ホームページ等にてご確認ください。

<http://www.tokki.co.jp>

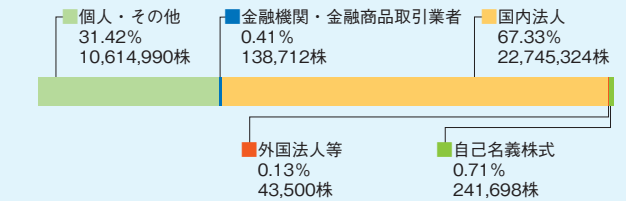
トッキ

検索

■株式の状況

発行可能株式総数..... 50,000,000株  
発行済株式の総数..... 33,784,224株  
株主数..... 7,894名

■所有者別株式分布状況



■会社概要

商 号 **トッキ株式会社**  
本店所在地 東京都中央区八丁堀二丁目21番2号  
設立年月日 昭和42年7月29日  
資本金 6,572,646,400円  
主な事業内容 真空技術応用製品の開発・設計・製造・販売  
NC工作機械等の販売、FA製品の製造・販売  
従業員数 連結：185名 単独：161名

■役員

代表取締役社長 津上 晃寿 取締役 新保 俊二  
代表取締役副社長 柳 楽 卓司 取締役 鶴 川 浩  
専務取締役 鳴海 廣治 常勤監査役 塩矢 富士夫  
取締役 山口 登志雄 監査役 大塚 博之  
取締役 小川 光雄 監査役 佐々木 泰蔵

■大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
キャノン株式会社	22,301,620	66.01
津上 晃寿	444,400	1.31
トッキ株式会社	241,698	0.71
津上 健一	203,400	0.60
株式会社パワーズアソシエイト	120,000	0.35
藍澤不動産株式会社	81,000	0.23
トッキ取引先持株会	73,900	0.21
日本証券金融株式会社	66,500	0.19
トッキ従業員持株会	60,590	0.17
小金沢 仁志	50,000	0.14

■主な事業所

当 社 URL:<http://www.tokki.co.jp>  
本 社  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目21番2号  
TEL.(03)3551-3151  
見 附 工 場  
〒954-0076 新潟県見附市新幸町10番1号  
TEL.(0258)61-5050  
新 潟 工 場  
〒950-3134 新潟県新潟市北区新崎293番26号  
TEL.(025)278-2290  
トッキ・インダストリーズ株式会社 URL:<http://www.tokki-ind.com>  
本 社  
〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目15番5号  
TEL.(03)3543-8841